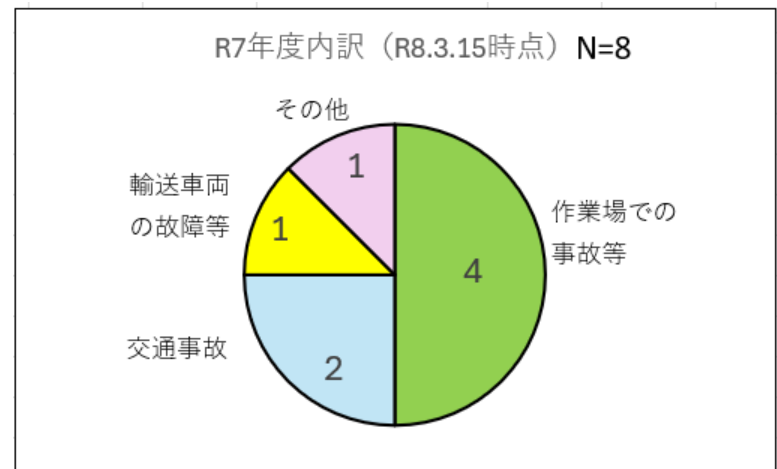
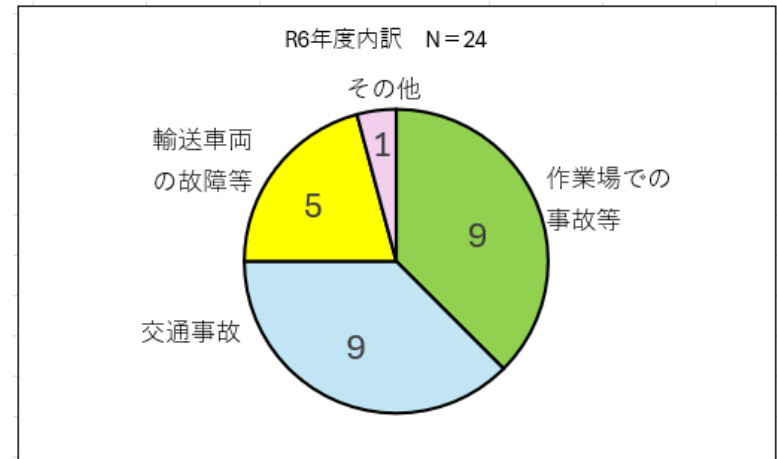
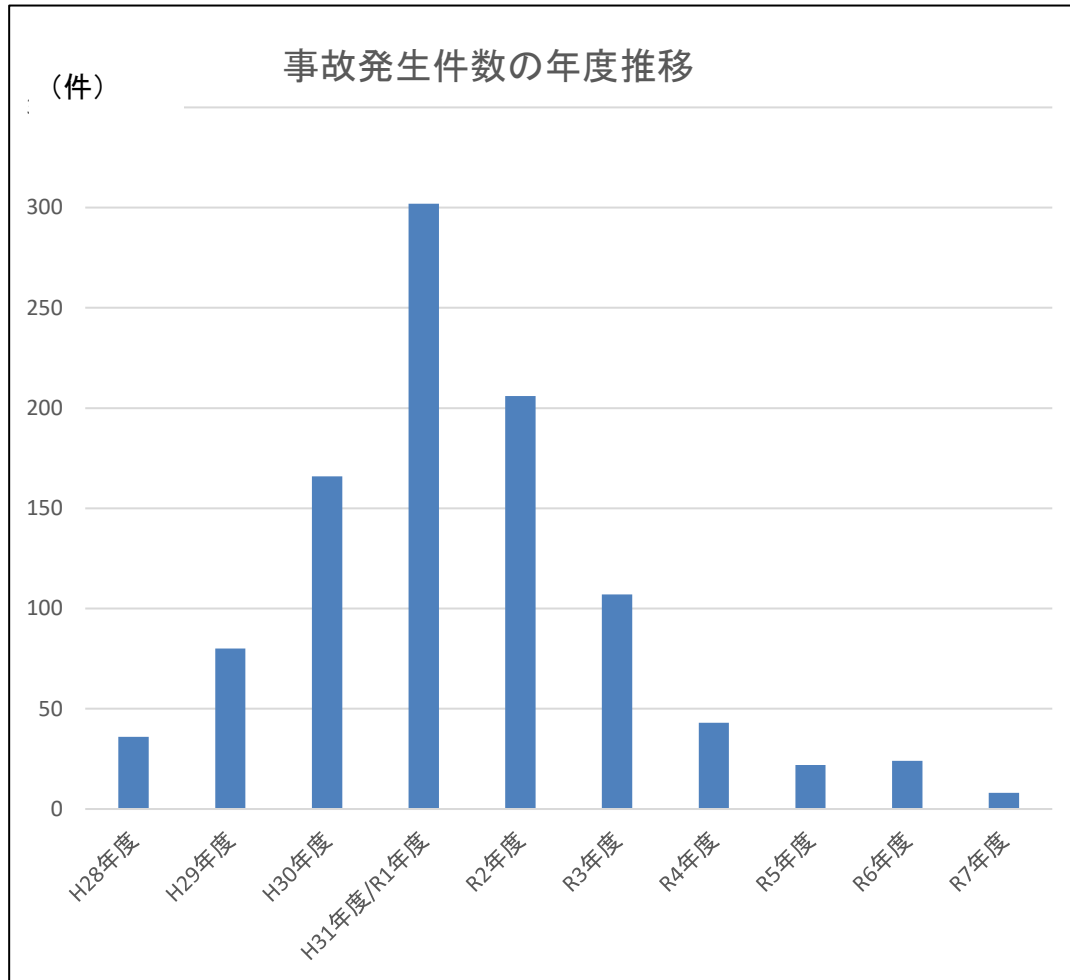


中間貯蔵施設事業において 発生した事故事例と対応等について (2025年11月環境安全委員会報告以降)

2026年3月

環境省

事故発生件数の推移等



死亡災害・重大事故ゼロ！

～安全に対する意識を高く持ち、基本に忠実な安全行動の徹底～

事故防止重点事項と対策

- (1) 重機・機械に係わる事故の防止
 - ・基本ルール（退避・合図・手順）の徹底と予定外作業の禁止。
 - ・架空線チェックシートによるリスク洗い出しと対策の徹底。
 - ・正しい機械・工具の使い方と安全装備。
- (2) 墜落・転落、転倒事故の防止
 - ・作業手順の整備・改善と安全装備の適切な使用
 - ・日々のKY活動と現場での注意喚起。
- (3) 運搬、荷役作業に係わる事故の防止
 - ・車両機構の点検整備と早めの修理
 - ・積込み時と荷下ろし時双方で荷姿のチェックと手順の周知。
- (4) 輸送車両の安全走行と漏水防止対策の徹底
 - ・健康管理・運行前点検の確実な実施と安全運転の指導継続。
 - ・漏水防止フローに基づく対策の徹底。
- (5) 業務車両及び通勤時の交通事故削減
 - ・事件事例の周知と繰り返しの教育・指導実施。事前の注意喚起。
- (6) 相談・報告しやすい職場・環境づくり
 - ・初動対応マニュアルの更新・展開と報告しやすい職場づくりへの工夫。

事業において発生した事故事例と対応等

	【事例の内容】 ↓	【主な発生要因】 ↓	【主な再発防止策】 ↓
交通事故	該当事例無し		
輸送車両の故障等	該当事例無し		
作業場での事故等	作業員が階段を降りる際にバランスを崩し転倒を避けるためにジャンプし着地した際に、踵を骨折 1	・ とび工である被災者は階段昇降に慣れており足下への注意を疎かにした。 ・ 蹴上が一般的な階段よりも大きく22cmあり昇降リズムが一般的な階段と違っていた。	・ 現地KYの強化（全員がリスクの洗い出し） ・ 階段を降りる際は手摺を持つように徹底
その他	該当事例無し		

作業場での事故等（足の骨折）

事例の概要

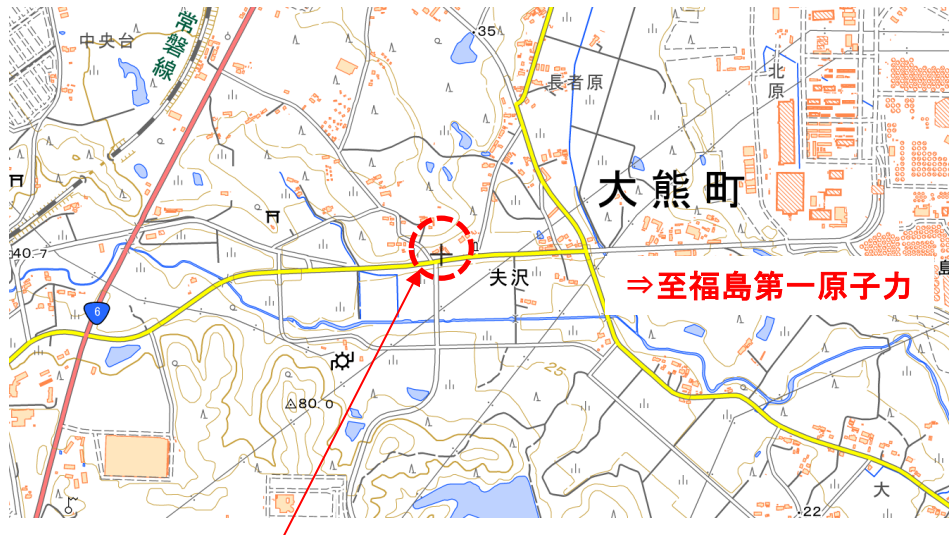
作業員が階段を降りる際にバランスを崩し転倒を避けるためにジャンプし着地した際に、骨折
2026年3月12日 14時20分頃 <株丸東>
被災者は解体家屋の建屋外階段を降りている途中でバランスを崩し転倒しそうになったことから、転倒を回避するためジャンプを試みコンクリート土間に着地した際に踵を骨折した。

発生要因

- ・ とび工である被災者は階段昇降に慣れており足下への注意を疎かにした。
- ・ 蹴上が一般的な階段よりも大きく22cmあり昇降リズムが一般的な階段と違っていた。

再発防止策

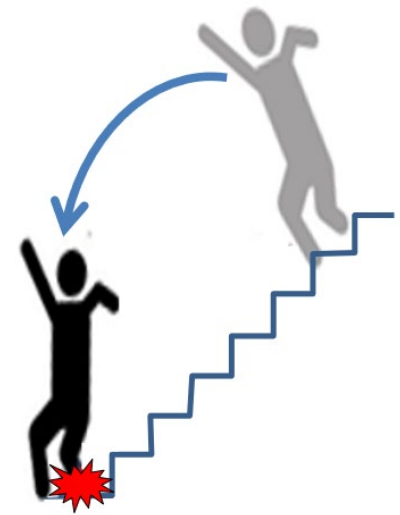
- ・ 現地KYの強化（全員がリスクの洗い出し）
- ・ 階段を降りる際は手摺を持つように徹底



【災害発生場所：解体家屋】



【災害再現写真・図】



「伝えるべきときに しっかり伝わるよう 伝える」

- 「令和7年度中間貯蔵施設工事事故防止目標及び重点対策」を定例会議の都度（毎月2回以上）、繰り返し伝達、確認。
- 事故発生情報を速報で周知。類似事故防止を呼びかけ。
- 過去の事例に基づく重要な教訓、反省を集約した「場面別 再発防止チェックシート」を作成。日々の作業場面に応じた類似事故防止対策を下支え。
- 工事の進捗、季節気象に応じた声かけ、注意喚起を、発注者から積極的に実施。

安全対策について②（作業員安全研修）

作業員研修

2022年度より、仮置場を含めて中間貯蔵施設工事に携わる全ての作業員を対象に安全研修を実施。
2025年度は2月末までに14回開催、計534名が受講。

<主な内容>

- ルール遵守の重要性・発生事故事例を基に再発防止に重要となるポイントを周知。
- 通勤・帰宅時の交通事故の状況と交通安全の指導・教育を実施。
- 中間貯蔵施設事業は、地域の多大なご協力の下に実施されていることをあらためて説明。
- 本事業において発生した事故等の状況を説明し、労働災害含む危険予知の気付きを促す教育を実施。



作業員安全研修

安全対策について③（運転者研修）

新任運転者研修

輸送車両の運転者及び受注者職員等を対象に、中間貯蔵施設への除去土壌等の輸送に係る研修を実施。2025年度は2月末までに2回開催。

<主な内容>

- 福島県警察本部からの県内の交通事情、高速道路での交通安全対策、事故時の対応等について指導。
- 環境省から緊急時の対応に関するマニュアルの周知を行い、緊急時の迅速な通報・連絡訓練を実施。

現任運転者研修

輸送に従事している全ての運転者が毎年度の再研修として受講。2025年度は2月末までに6回開催。

<主な内容>

- 中間貯蔵施設工事・輸送は地域の多大なご協力の下に実施される事業であることについて、地元の方々から寄せられているご意見も含めて改めて説明。
- 中間貯蔵施設工事・輸送において発生している事故等の状況を説明。
- 自らの運転の自己評価や危険予知の気づきを促す教育を実施。



新任運転者研修



現任運転者研修

安全対策について④（協議会）

中間貯蔵工事等協議会

労働安全衛生・公衆災害・交通安全の情報交換と安全施工の向上を目的に2015年12月より開催。重大事故等の発生要因及び再発防止策等の共有と、安全課題に対するテーマを決め定期的に意見交換を行い、各現場における安全対策の強化・改善につなげている。

・2025年度は対面、Webにより8回開催した。至近の対面開催である10月14日には容器残さ分別処理工事に伴う安全対策及び保管容器の定置作業について意見交換を行った。

労働災害防止協議会

福島県労働局及び富岡労働基準監督署の指導により、中間貯蔵施設工事の安全管理の更なる向上を目的に、2020年9月より開催。

・2025年度は対面、Webにより8回開催した。至近の対面開催である10月14日には、令和7年度労働災害発生状況の説明と労働安全施策の確認を行った。



10月14日 中間貯蔵工事等協議会



10月14日 労働災害防止協議会

安全対策について⑤（安全パトロール）

受注者と環境省職員による合同パトロール

受注者と環境省職員による合同の安全パトロールを定期的を実施。

- ・ 2025年度は7月8日、10月14日に実施した。10月14日のパトロールは容器残さ分別処理工事と保管容器の定置作業実施時の安全対策を重点的に実施した。

労働安全コンサルタントによるパトロール

通常の巡回パトロールとは別に、環境省職員と労働安全コンサルタントによる安全パトロールを実施。

- ・ 2025年度は新規受注者や過去に発生した事故の現場等を対象に年間10回、現場の安全衛生管理状況の確認と指導を行っている。

走行状況のパトロール

速度超過や交通安全に注意すべき箇所等において、輸送車両等の（帰投時を含む）走行状況を確認。

- ・ 2025年度は富岡町、大熊町、浪江町において実施した。



受注者と環境省職員による
合同パトロール



労働安全コンサルタントによる
パトロール



走行状況のパトロール

安全対策について⑤ （優良ドライバー表彰）

優良ドライバー表彰

運転手の安全意識とモチベーションの維持・向上のため、安全な輸送を100日以上行った者に、受注者を通じて優良ドライバー認定証（ヘルメット及び車両ダッシュボードに掲示）を交付することとしている。

※R7年度現時点においては連続100日の工期がある事業者がおらず、該当者はなし。



金：300日以上



銀：200日以上300日未満



銅：100日以上200日未満

優良ドライバー認定証
（安全輸送の継続日数ごとに3種類）



認定証の交付